

令和 3 年 12 月 21 日

各位

(一社)山口県バスケットボール協会
U12 部会長 藤本久志
(公印省略)

TO マニュアルについて (お知らせ)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は U12 部会事業につきましてご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

JBA の HP に TO コーナーが開設され、TO マニュアルが掲載されています。ぜひ、ご一読ください。

また、スコアボードでのチーム名の表示方法、間違いやすい TO の所作(別紙 1)、座席の配置(別紙 2)をお知らせしますので、周知をお願い致します。

敬具

記

1. スコアボードでのチーム名の表示方法

- ・ チーム名と得点が表示される電光式スコアボードは、前後半を通じて、チーム A を左に、チーム B を右に表示することを原則とする。対面に 2 台設置する場合も、鏡合わせの表示にはしない。

2. 間違いやすい TO の所作(別紙 1)

- ・ タイムアウトや交代を伝える時に立つ。
- ・ オルタネイティングポゼッションアロー(矢印)を持って伝える。
- ・ ゲームクロックを止めている時に手をあげない。

3. 座席の配置(別紙 2)

以上

間違いやすい TO の所作

間違いやすい TO の所作として、

- ① タイムアウトや交代を伝える時に立つ。
- ② オルタネイティングポゼッションアロー (矢印) を持って伝える。
- ③ ゲームクロックを止めている時に手をあげない。

正しくは、

- ① タイムアウトや交代を伝える時は座ったまま、シグナルを示す。

【資料 1】

手順：



コーチがタイムアウトを請求



タイムアウトが認められる時機になったら、スコアラーはブザーを鳴らし、タイムアウトのシグナルを示す



審判は笛を鳴らし、シグナルを示す。タイムアウトが始まり、タイマーはストップウォッチを動かして始める。

引用文献「公益財団法人 日本バスケットボール協会 TO マニュアル」

- ② オルタネイティングポゼッションアロー (矢印) は TO 席の中央に置いたまま、表示する。

- ③ ゲームクロックを止めている時は手をあげる。

【資料 2】

6.2 ゲームクロックの操作〔競技規則 第 49 条〕
JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION

- ・タイマーは、次の表に従って、ゲームクロックをスタート/ストップさせる。
- ・瞬間を捉えて操作できるよう、手指は常にスタート/ストップボタンの近くに置いておく。

ゲームクロックの(スタート/ストップ)のタイミング		合図
スタート	・ジャンプボールのときは、ボールがジャンパーによって正当にタップされた瞬間 ・最後のフリースローが成功せず、ボールがリングに触れたときは、コート上のプレーヤーがボールに触れた瞬間(※1) ・スローインのときは、コート上のプレーヤーがボールに触れた瞬間(※2) (※1) フリースローの成否にかかわらずスローインが続く場合は除く。 (※2) フィールドゴール成功後のスローインでは、ゲームクロックは止まらない。 (【最後の2分】を除く)	 上げていた手のひらを握って下ろす
ストップ	・審判が笛を鳴らした瞬間 ・タイムアウトを請求していたチームが、フィールドゴールで得点された瞬間 ・【最後の2分】にフィールドゴールが成功した瞬間 (※) ショットクロックのブザーだけでゲームクロックを止めてはならない。必ず審判の笛を確認してから止める。(ブザーが鳴ってもプレー継続する場合がある)	 手を開き頭上に上げる

【最後の2分】… 第4Qと各OTの残り時間が2:00以下の時間帯

引用文献「公益財団法人 日本バスケットボール協会 TO マニュアル(簡易版)」

座席の配置

【資料 3】

■ ■ 第 2 章 テーブルオフィシャルズ全体 ■ ■

2.1 テーブルオフィシャルズの構成

- テーブルオフィシャルズは、以下の 4 名からなる。U12、U15 の年代では、任務を適切に分担して、さらに 1 名追加してもよい。

名 称	主な任務
スコアラー	スコアシートの記録、審判への合図（タイムアウト、交代）、アローの表示
アシスタントスコアラー	スコアボードの操作、ファウルの表示、スコアラーのサポート
タイマー	ゲームロックの操作（競技時間、インターバル、タイムアウトの計測）
ショットクロックオペレーター	ショットクロックの操作（24 秒ルールの適用）

- スコアラーズテーブルの座席の配置は、下図の通りである。各メンバーは、ゲーム開始前のインターバルが始まるまでに着席しておく。ハーフタイム中、後半開始の 5 分前までは席を離れてもよいが、一人は必ずとどまっておく。



- テーブルオフィシャルズには、「集中力」「チームワーク」「謙虚さと敬意」「向上心」が求められる。
- テーブルオフィシャルズは、審判と同様に中立の立場であることを忘れてはならない。
- 常に、端正な行動と服装を心がける。服装は、統一されていることが望ましい。

引用文献「公益財団法人 日本バスケットボール協会 TO マニュアル(簡易版)」